

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第80回）に係る面談（2回目）
2. 日時：令和2年4月16日（木） 15時00分～16時20分
3. 場所：原子力規制庁18階会議室
4. 出席者

原子力規制委員会

伴委員

原子力規制庁

櫻田原子力規制技監

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、岩永企画調査官、松井安全審査官、久川係員

福島第一原子力規制事務所

小林所長、木村検査官、坂本検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

小野CDO他プロジェクトマネジメント室5名

福島第一原子力発電所10名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第80回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、資料に基づき以下の説明を受けた。

- 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表について
- 構内設備等の長期保守管理計画の策定について
- 3号機燃料取り出しの状況について
- 1/2号機排気筒解体工事の進捗状況について
- 事故故障報告2件に係る本年2月の検討会における質問への回答について
 - ✓ 6号機RHRポンプ（B）圧力抑制室吸込弁駆動部シャフト折損事象
 - ✓ 1/2号機排気筒ドレンサンプピットの水位低下事象
- 1/2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施状況について

○原子力規制庁から、以下のとおりコメント、確認を行った。

- リスク低減目標マップを踏まえた工程表のうち、除染装置スラッジの移送のスケジュールが遅れることについて、技術的に達成困難な課題があるのであればその内容について説明すること。
- 構内設備等の長期保守管理計画の策定については、前回説明からの変更といつから本計画を軌道に乗せ運用していくのかを、その評価プロセスも含めて示すこと。

- 1 / 2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施状況については、排気筒底部に確認された堆積物は廃棄物となることから、推定でよいので容量を示すこと。また、排気筒に接続するSGTS配管内の線量が、参考資料の排気筒外側で測定された約4Svに比べて一桁小さい結果になっていることに関し、それぞれの測定方法や測定条件の詳細を示すこと。
- 福島第一原子力発電所における新型コロナウイルス観戦防止対策について、協力企業を含めた対応状況の説明を追加すること。

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて準備を行う旨の回答があった。

6. 資料

【東京電力】

- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップ（2020年3月版）を踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）
- 福島第一原子力発電所 構内設備等の長期保守管理計画の策定について（案）
- 3号機 燃料取り出しの状況について（案）
- 福島第一原子力発電所 1 / 2号機排気筒解体工事進捗状況（案）
- 事故故障報告2件 2 / 17監視評価検討会における質問回答（案）
- 1 / 2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施状況について（案）

【原子力規制庁】

- 令和2年度東京電力福島第一原子力発電所における実施計画検査の基本方針（令和2年度第1回原子力規制委員会資料2）